

# 令和5年度 「学校評価報告書」



岩見沢市立明成中学校

## 【学校の概要】

推進校	岩見沢市立明成中学校							
校長名	松野 岳彦				教職員数		22名	
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
学級数	2	1	2				4	9
生徒数	41	34	56				9	140
住所	岩見沢市かえで町1丁目1番1号							
電話	0126-24-3485							
FAX	0126-24-4008							
UR-L								
e-mail	<a href="mailto:meiseic@edu.hamanasu.com">meiseic@edu.hamanasu.com</a>							

### I. 校訓・学校教育目標

#### 1. 校訓

#### 聡明(知)

- ・未来への夢や目標を持ち 進んで努力することができる生徒
- ・自信をもって判断し 自分の考えを発信・表現することができる生徒

#### 敬愛(徳)

- ・仲間の思いを尊重し 力をあわせて物事を成しとげることができる生徒
- ・思いやりの気持ちを忘れず 礼儀正しく 自ら大きな声であいさつすることができる生徒

#### 躍動(体)

- ・新しいこと 困難なことに挑戦し 可能性を高めることができる生徒
- ・生徒会活動等に進んで参加し明成中の発展に貢献することができる生徒

#### 2. 学校教育目標

<p>1 知性を磨き、真理を探究する生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○高い理想をもち、たゆみなく努力する人</li> <li>○正しい判断をし、実践する人</li> <li>○豊かな創造力をもち、未来を拓く人</li> </ul> <p>2 豊かな心情をもち、自他を尊重する生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○思いやりの気持ちをもち、協調できる人</li> <li>○自然や人を愛し、美に感動する人</li> <li>○謙虚な心で、礼儀正しい人</li> </ul> <p>3 心身ともにたくましく、粘り強く実行する生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分を鍛え、困難なことにも挑戦できる人</li> <li>○勤労の精神をもち、明るい環境をつくる人</li> <li>○平和を求め、国際社会に貢献できる人</li> </ul>
--

### II. 中期及び単年度の具体的目標

キーワード：『 自主・自律 』～ チームで共有・貢献～

子どもたちが成人し社会で活躍する頃には、人工知能が(AI)が人間の知能を超えるシンギュラリティへ

の到達が予想されています。また、劇的な社会の変革期「Society5.0」（超スマート社会）が到来しつつあり、社会の在り方そのものがこれまでとは「非連続」と言えるほど劇的に変わる状況が生じつつあります。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響は長期にわたると考えられるため、「ウイズコロナ」「ポストコロナ」を見据えた新しい教育の創造も必要になってきます。そうした予測困難な時代を乗り越え、急激に変化する未来を生き抜くために必要な資質・能力の育成や予測を超える未来社会に対応する学校教育の提供が期待されています。そのためには、教育の在り方も一層進化させる必要があります。特に、令和3年度から完全実施となる新しい学習指導要領にそった教育活動の展開とともに、「新しい生活様式」を踏まえた教育活動の展開が必要です。

学ぶことと社会のつながりを意識し「何を教えるか」という知識の質や量の改善に加え、「どのように学ぶか」という学びの質や深まりを重視することが必要であり、学びの成果として「どのような力が身についたか」という視点が重要になってきます。

本校では、「同じ山に登る」というスローガンと「学校改善＝授業改善」の理念を全教職員が共有し、「普段の授業づくり」への努力を積み重ねてきました。（学び続ける学校）

また、日の出小学校との授業交流・公開を中心に据えた校内研修、ICT機器の活用、教科教室の運営、「どのように学ばせるか」に視点をあてた明成スタイルの教室環境と授業、さらに、放課後学習、長期休業中の自主学習、明成塾等の活動を充実させる学力向上策を進めてきた結果、全国学力・学習状況調査では、全国平均を上回る結果となっています。また、「道徳の時間」を中心とした道徳教育の充実にも努めるとともに、ピア・サポートを全ての教育活動に位置づけた結果、子どもの自己肯定感・有用感の高まりと、生徒間の望ましい人間関係の構築に繋がりました。さらに、生徒理解に基づく積極的な生徒指導による相乗効果により、生徒たちは非常に落ち着いた状況にあります。そのため、学校評価アンケートにおいて、生徒・保護者・地域からも高い評価をいただいています。しかし、日の出小学校の児童数の減少や学校選択制の影響を受け、本校への入学者の人数が減り学級減が続いていました。そこで、令和元年度より、日の出小学校との連携を今まで以上に強めるとともに、日の出・明成学校運営協議会を立ち上げ、本校や本校生徒の良さを、日の出小を中心に伝えるとともに、日の出地区全体の本校に対する空気感を変えようとするさまざまな取り組みを発信した結果、令和3年度の新入生の生徒数は、学校選択制による生徒減をなくしました。しかし、「何が何でも2学級」を目指して連携を強化してきましたが、令和4年度の新入学は37名1学級、全校で通常学級5学級、特別支援学級3学級となり、昨年度と同じ学級数ですが、減少傾向に歯止めを掛けることはできませんでした。現状に満足せず生徒のために、そして教職員の資質・向上をめざし「学び続ける学校」、日の出地区の小学生だけでなく、岩見沢の小学生や保護者から支持される「社会と繋がる学校」の創造にチーム一丸となって挑戦すると共に、地域の方々も一緒になって子どもたちを育てていくような体制を日の出小学校と共に創りたいと考えています。

### Ⅲ. 各種具体的な計画

#### 学校経営方針

#### 「学び続ける学校」「社会と繋がる学校」

- 1 「新しい時代に対応できる力」の育成
- 2 「豊かな人間性」「健やかな体」の育成
- 3 「信頼され、社会と繋がる学校」づくり

キーワード：『自主・自律』～チームで挑戦・共有・貢献～

#### 経営の重点

1. 学校経営ビジョンと明成中の共通言語を継続・徹底・変化
  - (1) スローガン「同じ山に登る」
  - (2) 組織で動く「チーム明成」
  - (3) 理念「学校づくり＝授業づくり」

2. 人が替わっても変わらない学校づくり
  - (1) 良いものを続けるためには常に変化を恐れない
  - (2) 挑戦→「ドンマイ」から「ナイストライ」への変革
  
3. 日常の授業づくりの徹底（子どもと創る授業をめざして） 「学び続ける学校」
  - (1) 学力向上のための積極的な授業づくり(生徒一人ひとりを誰一人取りこぼさず全員を伸ばす)
    - ① 生きる力を育む
      - ア 基礎的、基本的な知識及び技能（活用できる知識・技能等）
      - イ 課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力（考える力・プレゼン力等）
      - ウ 主体的に学習に取り組む態度、個性を生かし多様な人々との協働  
(コミュニケーション力・対話等)
    - ② 明成スタイルの継続・深化（主体的・対話的で深い学び）
      - 「課題・ポイント・自力解決・集団解決（交流から話し合いへ）・振り返り」
      - （校内研修・小中一貫研修（日の出小）・個人研修・研究所など外部機関での研修などを通して）
  - (2) GIGA スクール構想(ipad の効果的な活用と持ち帰り)への積極的な取り組み
    - ① 教職員、生徒ともに学習機器としての ipad の操作スキルの向上と効果的な活用方法の工夫
    - ② ICT の効果的な活用
  
4. 全ての教育活動でピア・サポートを土台とした学校づくり（徹底的に生徒を大切にする教育）
  - (1) 授業（各教科・道徳・総合）特別活動（学級活動・生徒会活動・学校行事）部活動など
  - (2) 生徒理解と人間関係づくり（不登校を生まない組織作り 生徒と生徒・生徒と教師・教師と教師）
    - ① 多様化している生徒たち誰一人取りこぼさず理解し受け入れ寄り添い現状より伸ばす生徒支援
    - ② 縦割り活動の充実
    - ③ ピア・サポートを土台に、互いをリスペクトし、協働する教職員集団の構築
  
5. 信頼され「社会とつながる学校」づくり
  - (1) 幼・小・中・高との連携（日の出・明成小中一貫教育の充実）
  - (2) 日の出・明成コミュニティ・エリア構想（学校運営協議会の充実）
  - (3) 「チーム明成」の拡大
    - （本校の生徒・保護者・教職員だけでなく日の出小児童・保護者・教職員・日の出地域）
    - 良いイメージの空気感を日の出地区全体に広げる
    - （学校日より・学級日より・ブログ・一斉同報メール等を活用した発信力の強化）
  
6. 教育の質を上げるために、実効性のある「働き方改革」の推進（目に見える変化）
  - (1) 更なるアイデア（個人→学年・G→企画委員会）
  - (2) 岩見沢市の部活動改革への協力

#### 授業作りの重点

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す授業づくり
  - ① 統一感のある授業改善（授業づくり）
    - ア 本校のスローガン・共通言語の定着・徹底
      - ・「同じ山に登る」「明成スタイル」「ピア・サポート」
    - イ ベクトルを揃える
      - ・「組織で動く」の徹底
      - ・全教師で取り組む授業公開
      - ・日常の授業交流、日の出小学校との授業交流

- ・校内研修を基盤とした組織的な授業改善
  - ・授業アンケート等の評価を基にした授業改善
- ウ 学校づくり＝授業づくり
- ・授業改善で学校改善
  - ・単元を見通した授業構築、主体的・対話的で深い学びの追究
  - ・「明成スタイル」「ピア・サポート」を前教師で指導
  - ・日の出小学校との連携、学びの連続性、義務教育9年間で系統立てた指導の確立
  - ・GIGAスクール構想によるICT機器の効果的な活土曜
- (2) 自己の成長を実感し、誰もが達成感を持てる授業づくり
- ①ふるさと教育の改善充実
- ・コミュニティエリア構想 学校運営協議会との連携・協力
  - ・地域の教育資源を活かした学びの創造
  - ・地域へ出向いた調査活動・探究活動の充実
- 1年生フィールドワーク 2年生職場体験 2年生上級学校訪問  
全学年合同高校説明会 全学年明成塾
- ②心の教育の充実
- ・特別の教科道特における、考え議論する授業
  - ・明成スタイル、ピア・サポートを基盤にした自己肯定感、自己有用感の高揚
  - ・特設のピア・サポート授業（年7回）
- 傾聴・受容・共感に基づく集団作り、いじめ防止プログラムに基づく学級学年全校授業
- (3) 自ら未来を切り開いていくための力を育てる授業作り
- ①外国語教育の充実 ALT 英検 IBA 土曜学習会等
- ②情報活用能力の育成 全ての授業でタブレットを活用した情報活用能力の育成
- (4) 道徳指導の重点
- ① 生命を尊重し、心の触れ合いを大切にす教育
- ア 生命の尊さを理解し、自他の生命を尊重する心を養う。
- イ 基本的な生活習慣の定着を図り、善悪の判断ができ、健康で安全な生活を習慣化させ、よりよい生活ができる道徳性の育成を図る。
- ウ 思いやりの心を持ち、互いに励ましあい高め合い生活向上に努める態度を育成する。
- (5) 特別活動の重点
- ① 創造性や感性を磨き、自分らしさを高める教育
- ア 集団の一員としての自覚を深め、自主的・実践的に活動する。
- イ 一人一人が自らの将来の生き方を考え、人間としての生き方の自覚と自己を活かす活動の充実を図る。
- ウ 望ましい集団生活を通して、創意を生かした活動の実践を図る。
- エ 子どもたちが様々な場面で力を発揮できる指導の充実。
- (6) 総合的な学習の時間の重点
- ① 地域や学校の特性を利用し、生活体験を通した生き生きした教育
- ア 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。
- イ 学び方やものの考え方を身に付け、問題解決や探究活動に主体的・創造的に取り組む態度を育て、生き方を考えることができるようにする。
- (7) その他
- ①岩見沢市教育方針『子どもが輝く岩見沢の教育づくり』（6つの重点項目）の達成

②学び・心はぐくむ学校活動支援事業を活用した特色ある教育活動

IV 各種評価結果と改善策  
別紙資料参照

V 資料  
別添資料参照

## 令和5年度明成中学校学校評価アンケート

	【保護者アンケート】	そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	そう思わない	分からない
1	学校は、生徒が意欲的に学びに向かう分かりやすい授業を行っている。	12%	49%	12%	0%	27%
2	学校は、仲間と交流したりするグループ活動を効果的に取り入れた授業づくりに努めている。	24%	47%	4%	2%	22%
3	学校は、子ども達が良好な人間関係を築き、安心して学校生活を送ることができるよう努めている。	16%	43%	12%	6%	20%
4	学校は、子どもたち一人ひとりを理解してくれている。	12%	57%	4%	6%	18%
5	学校は、生徒指導上の問題に迅速に対応している。	22%	47%	4%	8%	18%
6	学校は「あいさつができる」「ルールを守る」などの日常生活に対する指導を行っている。	27%	55%	6%	0%	12%
7	学校は、失敗を恐れずチャレンジする生徒の育成に努めている。(挑戦)	16%	49%	10%	4%	20%
8	学校は、個性の違いを受け入れ、支え合うことができる生徒の育成に努めている。(協働)	16%	51%	6%	6%	20%
9	学校は、学級や学年など誰かのために行動できる生徒の育成に努めている。(貢献)	16%	51%	6%	6%	20%
10	学校は、保護者・地域の願いや信頼にこたえる学校づくりをするため、連携に努めている。	22%	53%	8%	2%	14%
11	学校は、教育方針や子どもの様子を積極的に伝えるよう努めている。	29%	49%	10%	2%	10%

	【生徒アンケート】	そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	そう思わない	分からない
1	授業は分かりやすい	53%	43%	4%	0%	1%
2	仲間と交流したりするグループ活動を効果的に取り入れた授業が多いと思う。	69%	28%	2%	0%	1%
3	仲間と良好な関係を築き、安心して学校生活を送っている。	58%	33%	6%	0%	3%
4	先生は、どの生徒も認め、理解してくれている。	56%	33%	4%	0%	6%
5	クラスや個人に問題が起きた場合、学校はその解決に向けて素早く対応している。	53%	33%	4%	0%	10%
6	日常生活で「あいさつができる」「ルールを守る」ことができている。	58%	36%	6%	0%	0%
7	失敗を恐れず何事にもチャレンジできている。(挑戦)	39%	42%	16%	0%	4%
8	仲間の個性を受け入れ、支え合うことができている。(協働)	59%	36%	3%	0%	2%
9	学級や学年など誰かのために行動できている。(貢献)	39%	53%	5%	2%	2%

学校評価アンケートより

- 生徒については肯定的回答(そう思う+どちらかと言えばそう思う)が多く項目で90%を超えたものの、保護者の回答では60~70%にとどまったことから、まだまだ学校の取り組みに改善が必要であると考えています。
- 保護者の回答において「わからない」の回答がすべての項目において二桁となったことについて、学校の方針や取り組みの様子、結果などのお知らせが不十分でした。各学級での通信、学校だより、ブログなどの情報発信を充実させて、学校の様子を広く知って頂くよう努めます。
- 保護者アンケートにおいて、「生徒理解」の項目が最も低かったことは、学校としてとても重く受け止めています。全ての生徒たちが安心して学ぶことができる学校作りに注力して参ります。
- 生徒アンケートにおいて、目指す生徒の姿にある「挑戦」「貢献」の数値が、他に比べて低いことから、何事にも挑戦できる生徒、他者のために貢献できる生徒を育てるためにどのような教育活動を行うべきかを、全職員で考え実行していきます。

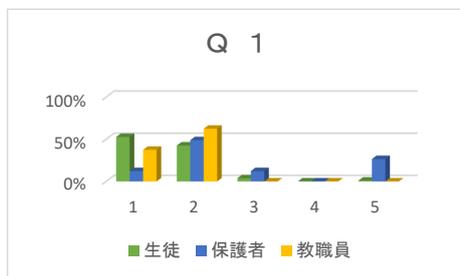
# 令和5年度 学校評価アンケート結果・分析【生徒・保護者・教職員】

岩見沢市立明成中学校

- |                |
|----------------|
| 1. よく当てはまる     |
| 2. やや当てはまる     |
| 3. ほとんど当てはまらない |
| 4. 当てはまらない     |
| 5. わからない       |

1. 学校生徒が意欲的に学びに向かう分かりやすい授業を行っている。(保護者・教職員)

1. 授業は分かりやすい。(生徒)

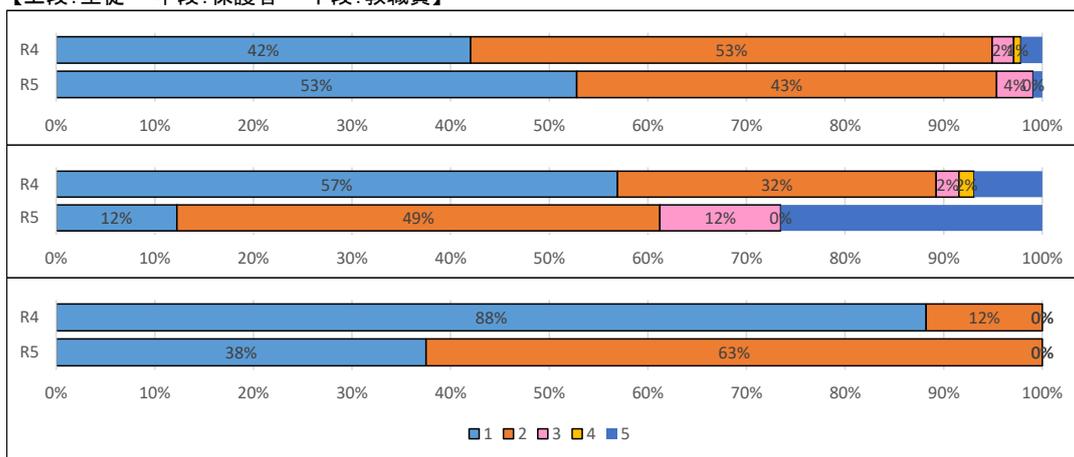


肯定的回答 (%)

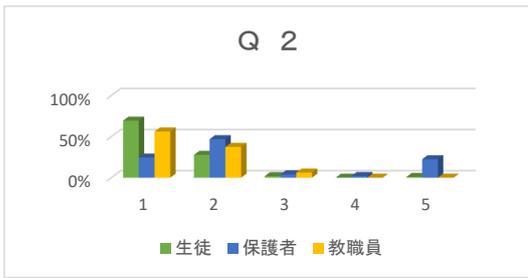
	生徒	保護者	教職員
R4	95%	89%	100%
R5	95%	61%	100%

4年度(複数教員による指導)と5年度で質問の内容が違っているため、単純比較はできないが、今年度の授業づくりの取り組みが、まだまだ途上であることから、引き続き理解できる授業づくりの取り組みを継続すると共に、「わからない」の回答を減らすための、周知の方法の工夫が欠かせない。

【上段:生徒 中段:保護者 下段:教職員】



2. 学校は仲間と交流したりするグループ活動を効果的に取り入れた授業づくりに努めている。(保護者・教員)  
授業はわかりやすい。(生徒)

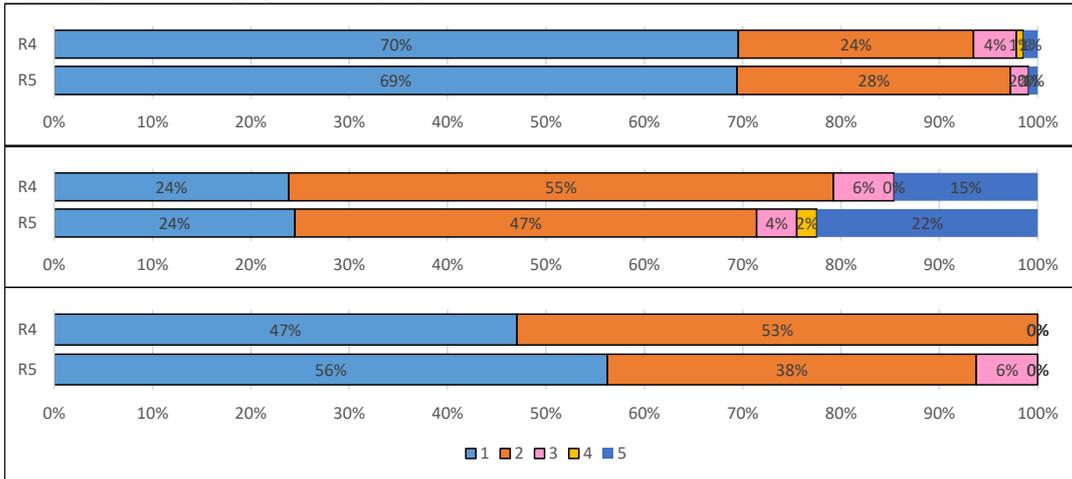


肯定的回答 (%)

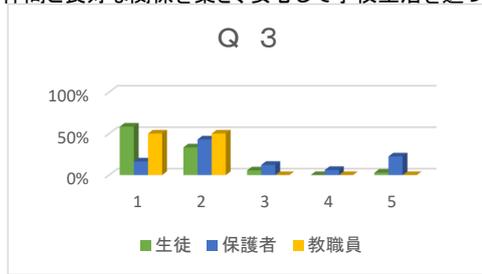
	生徒	保護者	教職員
R4	93%	79%	100%
R5	97%	71%	94%

全体的にはほぼ前年度と同様の傾向にあるが、わずかではあるが肯定的回答が減少し、「わからない」が増加していることから、普段の授業での取り組みを積極的に発信していくことが重要であると考えます。

【上段:生徒 中段:保護者 下段:教職員】



3. 学校は、子ども達が良好な人間関係を築き、安心して学校生活を送ることができるよう努めている。(保護者・教員  
仲間と良好な関係を築き、安心して学校生活を送っている。

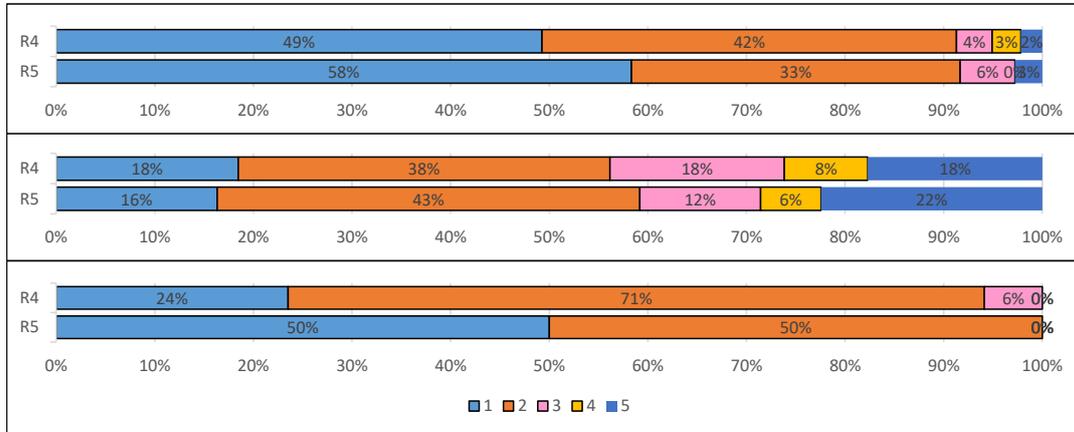


肯定的回答 (%)

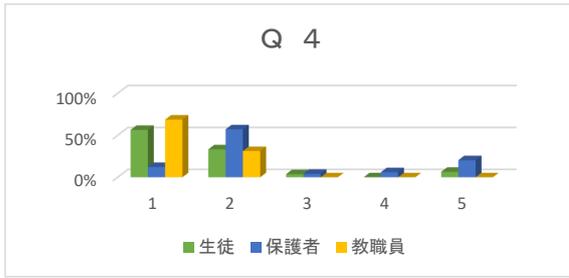
	生徒	保護者	教職員
R4	91%	56%	94%
R5	92%	59%	100%

生徒は肯定的回答が増加している傾向にあり、保護者も同様の傾向があるが、保護者への周知が課題として残る。生徒たちの「そう思わない」という回答がゼロになったことは成果と捉える。

【上段:生徒 中段:保護者 下段:教職員】



4. 学校は子どもたち一人ひとりを理解している。(保護者・教職員)  
 先生は、どの生徒も認め、安心して学校生活を送っている。(生徒)

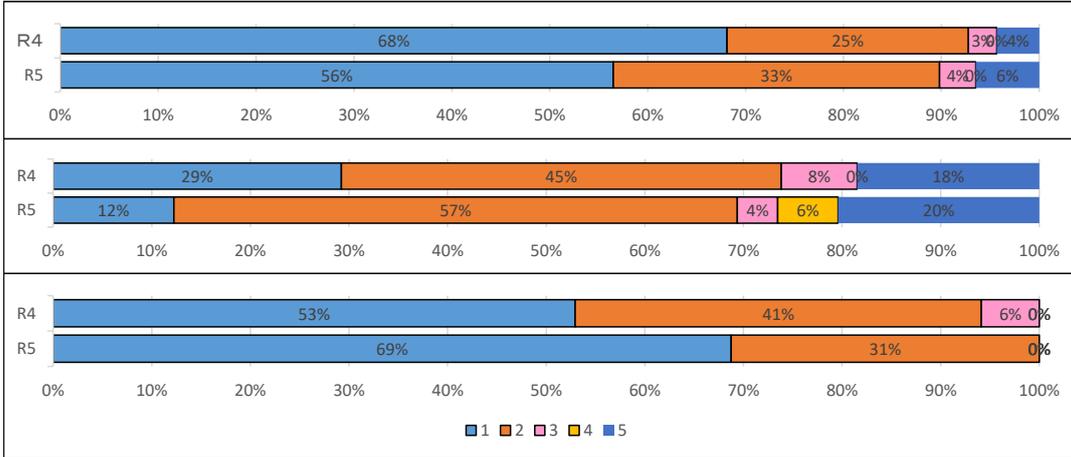


肯定的回答 (%)

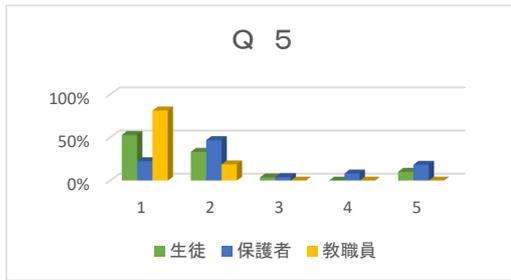
	生徒	保護者	教職員
R4	93%	74%	94%
R5	90%	69%	100%

質問項目前年度と異なるため比較はできないが、正しい生徒理解が教育活動の充実には不可欠であることから、引き続き多面的生徒理解に努める。

【上段:生徒 中段:保護者 下段:教職員】



5. 学校は、生徒指導上の問題に迅速に対応している。(保護者・教職員)  
 クラスや個人に問題が起きた場合、学校はその解決に向けて素早く対応している。(生徒)

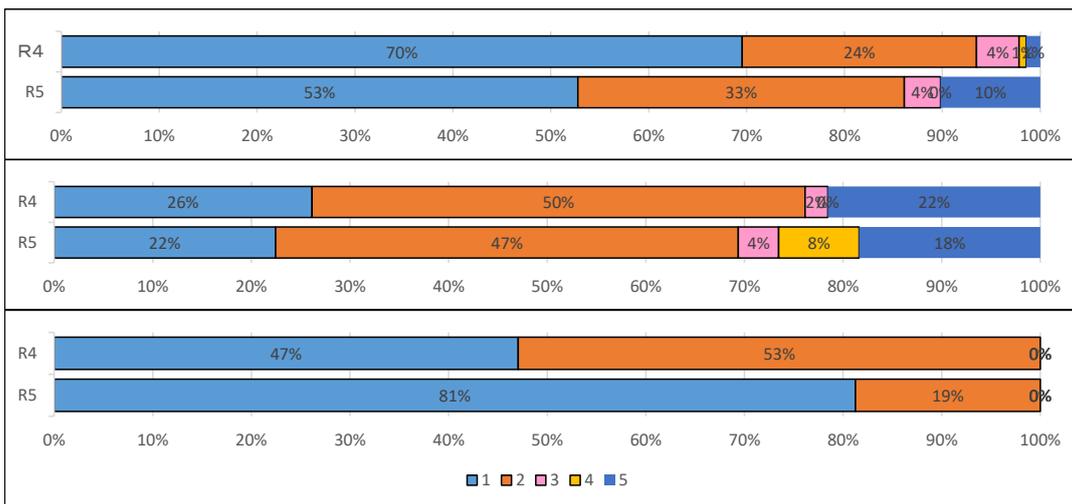


肯定的回答 (%)

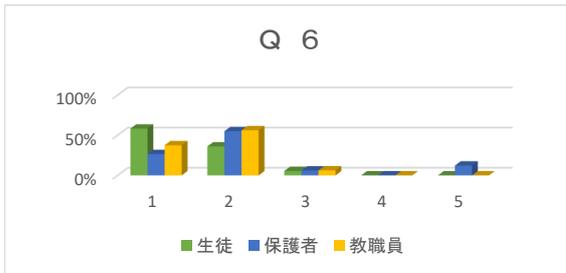
	生徒	保護者	教職員
R4	93%	76%	100%
R5	86%	69%	100%

生徒指導上の問題に対しては、「未然防止の取り組み」と「迅速な初期対応」を徹底していくという地道な取り組みを通じて、信頼関係を醸成していく。

【上段:生徒 中段:保護者 下段:教職員】



6. 学校は「あいさつができる」「ルールを守る」などの日常生活に対する指導を行っている。(保護者・教職員)  
 日常生活で「あいさつができる」「ルールを守る」ことができている。(生徒)

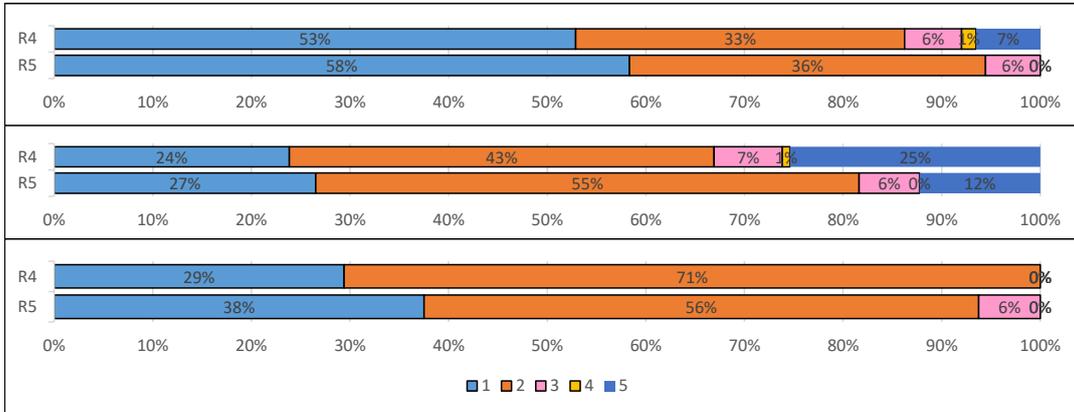


肯定的回答 (%)

	生徒	保護者	教職員
R4	86%	67%	100%
R5	94%	82%	94%

小さなことから丁寧に指導していくことの重要性を全体で共通理解し、生徒たちを全体で育てていく学校を目指したい。

【上段:生徒 中段:保護者 下段:教職員】



7. 学校は失敗を恐れずチャレンジする生徒の育成に努めている。(保護者・教職員)  
 失敗を恐れず何事にもチャレンジできている。(挑戦)(生徒)

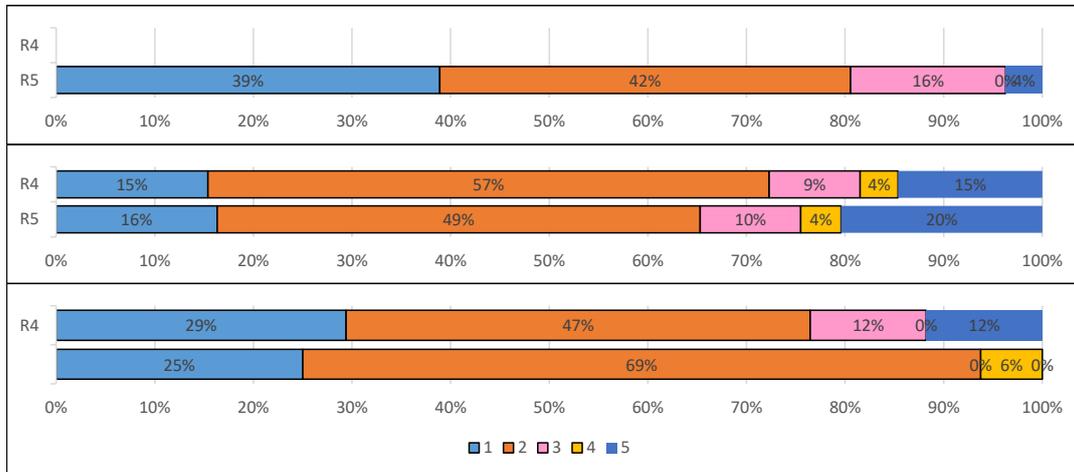


肯定的回答(%)

	生徒	保護者	教職員
R4	0%	72%	76%
R5	81%	65%	94%

肯定的な回答がやや減少、「わからない」が増加していることから、具体的な「目指す生徒の姿」を全体で共有し、生徒たちが成長できる学校を目指す。

【上段:生徒 中段:保護者 下段:教職員】



8. 学校は、個性の違いを受け入れ、支え合うことができる生徒の育成に努めている。(教職員・保護者)  
 仲間の個性を受け入れ、支え合うことができている。(協働)(生徒)

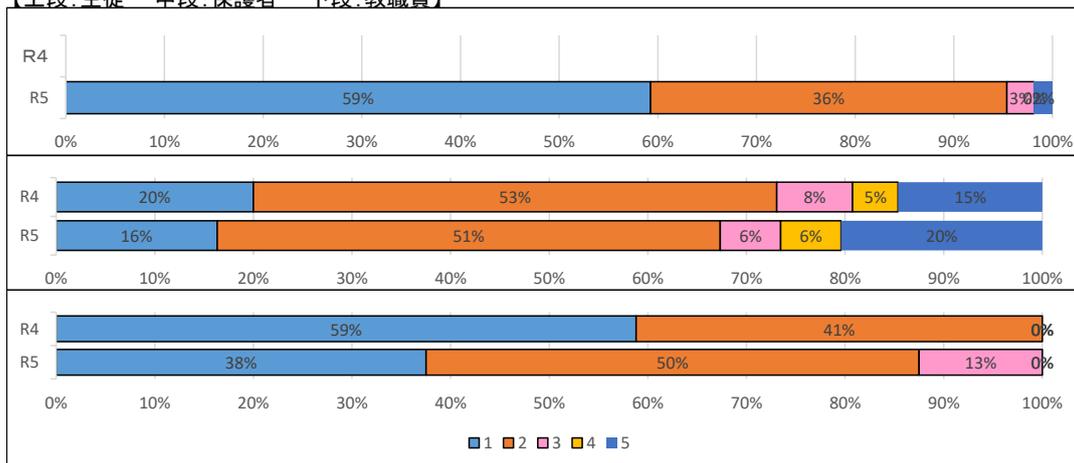


肯定的回答(%)

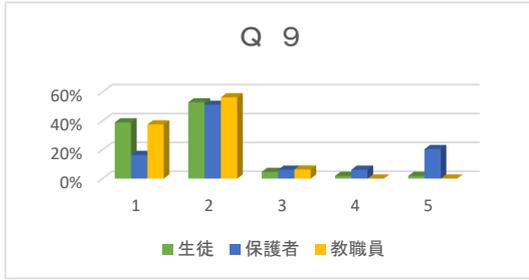
	生徒	保護者	教職員
R4	0%	73%	100%
R5	95%	67%	88%

生徒たちが、異なる価値観や他者の意見を受け入れ、多くの人と協働できるよう、教科の学習や特別活動などを通じて育てていきたい。

【上段:生徒 中段:保護者 下段:教職員】



9. 学校は、学級や学年など誰かのために行動できる生徒の育成に努めている。(保護者・教職員)  
 学級や学年など誰かのために行動できる生徒の育成に努めている。(貢献)(生徒)

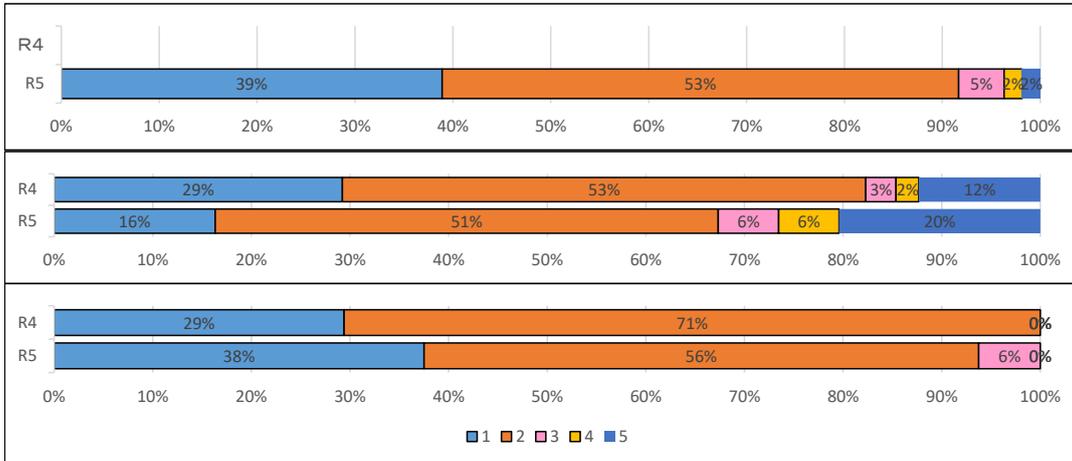


肯定的回答 (%)

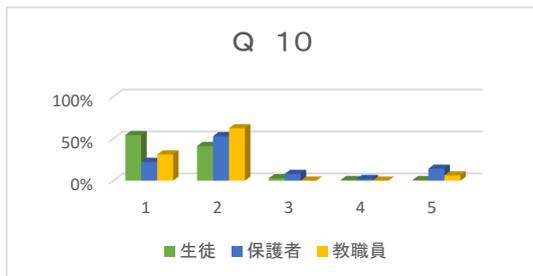
	生徒	保護者	教職員
R4	0%	82%	100%
R5	92%	67%	94%

「目指す生徒の姿」で最も課題である「貢献」について、まだまだ取り組みが十分ではない。協働学習や行事の取り組み、生徒会活動などが「貢献できる生徒」の育成において重要であることから、これらの取り組みを充実させていく必要がある。

【上段:生徒 中段:保護者 下段:教職員】



10. 学校は、保護者・地域の願いや信頼にこたえる学校づくりをするため、連携に努めている。

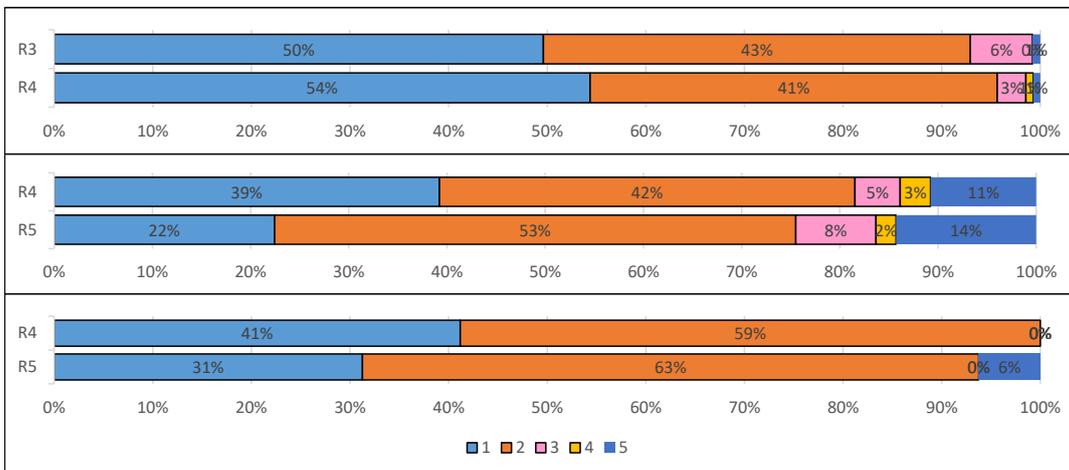


肯定的回答 (%)

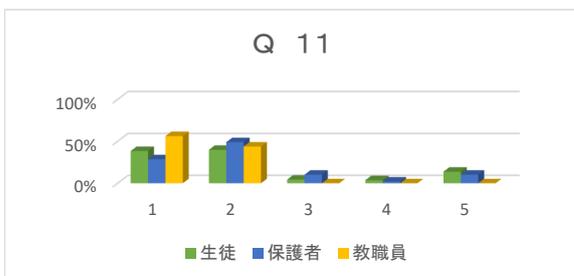
	生徒	保護者	教職員
R4	93%	82%	100%
R5	96%	76%	94%

保護者・教職員の肯定的回答が減少している。保護者や地域の願いは様々な者の、「学力向上」「社会性の伸長」「学校生活への満足度」が考えられる。これらを意識した教育課程の編成・実施が重要だと考える。

【上段:生徒 中段:保護者 下段:教職員】



11. 学校は、教育方針や子どもの様子を積極的に伝えるよう努めている。

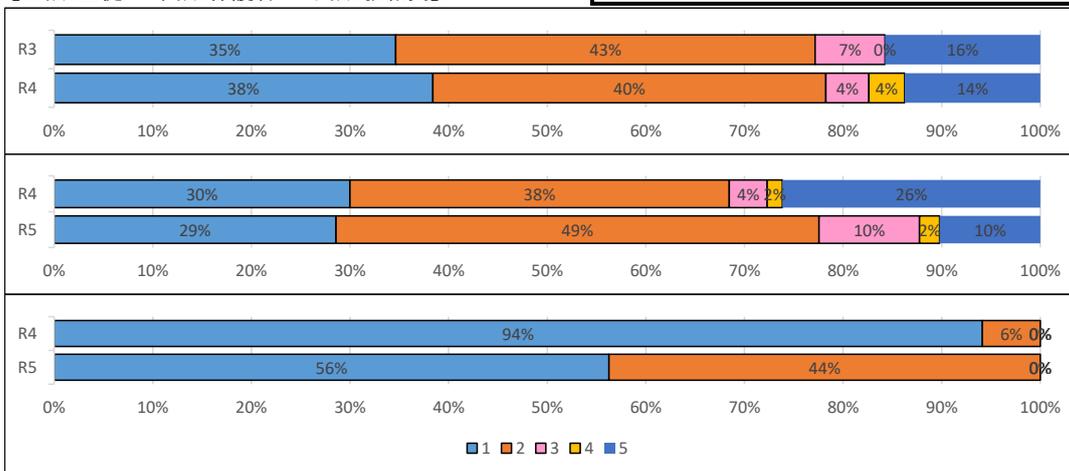


肯定的回答 (%)

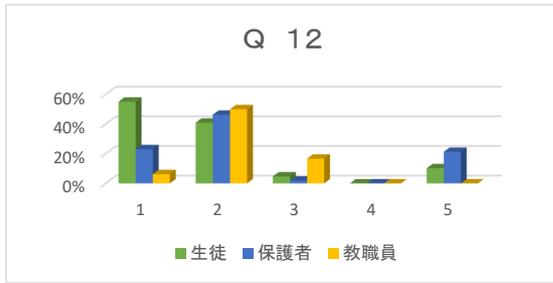
	生徒	保護者	教職員
R4	77%	68%	100%
R5	78%	78%	100%

保護者の「分からない」が大きく減少したことは成果と捉えている。通信やブログ、今年度導入したtetoruの成果だと考える。引き続き取り組みの充実を図る。

【上段:生徒 中段:保護者 下段:教職員】



12. 教育の質を上げるために、実効性のある「働き方改革」に努めている。

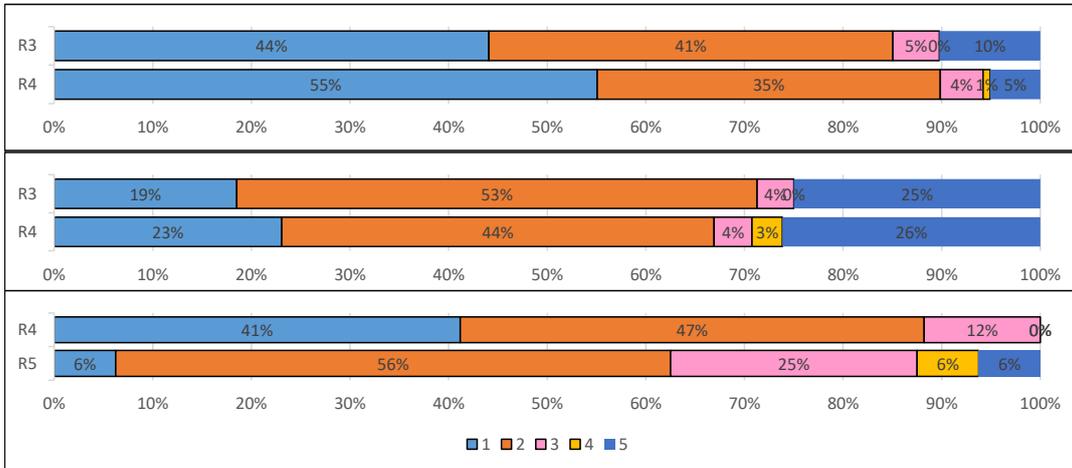


肯定的回答 (%)

	生徒	保護者	教職員
R4	85%	71%	88%
R5	90%	67%	63%

教職員の数値の大きな減少について、それぞれの意見を集約した上で検証、改善の取り組みを行う。

【上段:生徒 中段:保護者 下段:教職員】



# 保護者

回答No.	現在の明成中学校で、誇れること、自慢できることは何だと思えますか、お書きください。	今後さらに明成中学校をよくするための方策があればお書きください。
1	落ち着いたイメージがある	猛暑時にそなえ、冷房をつけてほしいです。
2	生徒たちが元気	教師の質のバラつきをなくす
3	少人数で生徒と先生の距離が近く、とても親身になって接してくれているところが素晴らしいと思います。	部活動の内容をより充実させる為に、活動内での教育指導についても適正な対応、指導して欲しい
4	先生と生徒の距離が近い	先生と生徒たちがアイデアを出し合う
5	学年の枠を越えて仲がいいこと	1年生の学年全体の学力低下が気になりますが、どうすれば学力アップにつながるのか、対策はわかりません。来年度から始まる定期テスト廃止の学習スタイルでどう変わるのか、期待したいと思います。
6	プロ野球選手が1人出た	難しいとは思いますが、運動系部活動の強化や、文化系の部活や同好会みたいなものを生徒などにアンケートを取ったりして、増やしても良いかなとは思いました。
7	生徒たちが素直で協力的な子が多い	意地悪に気づく
8	誰に対しても元気よくあいさつができること	部活の予定表もPDFで添付して貰えると助かる。
9	隣接の日の出小児童教員と積極的に交流し情報交換等している所	部活がもっと選択できたらいいと思いました。
10	挨拶、合唱	現状維持で大丈夫かと思う
11	挨拶	生徒と先生がより接することでもっと信頼感が大きくなると思います
12	見たり聞いた話では、イジメが無い事。	楽しい行事で意欲をわかす
13	挨拶が立派、元気が良い	目上の人(先輩)に対しての礼儀というか親しき仲にも礼儀あり  というのを生徒に知ってほしい。
14	生徒1人ひとりをよく見てくれていると思う	今のままでも充分良いです。卒業した娘も明成で良かったと言うくらいなので
15	ない	先生の言葉使い、言動を良くした方がいいと思う。その日の気分で生徒に当たるのは間違えだと思ふ。もっと適切な対応をした方がいいと思う。差別的発言も無くした方がいいと思う。
16	アプリも使いやすく、いち早いお知らせが有難い。普段の様子や、行事もブログで発信してくれるので、学校での様子が見られて手厚く思う。	今の中1の子たち、挨拶しない、合唱は唄わない、うちの近所にたむろする、注意しても無視、いくら近所に住んでいても、暗くなったら、家に帰るよう、ご指導お願いします。
17	不登校でも受け入れてくれている所	難しい時代なのかもしれませんが、制服など身だしなみのルールは、もう少し厳しくてもいいような気がします。
18	各学年の団結力	学校祭の出し物が去年から縦割りになりましたが、そのメリットがわかりません。クラスも多くないのでクラスごとに戻してもいいのでは？
19	在校生が少人数なので、学年に関係なく良い人間関係が出来ていると思う。	学校、生徒、保護者それぞれのコミュニケーションが上手く計れる良い方法があればいいかと思えます。毎日、何をしているのか具体的な事が伝わって来ないのが何かと不便、不安に感じます。
20	小学校と連携してのイベントとかもあるので、すこくアットホームな感じで子供が明成で良かったなと思えます	授業を楽しく、わかりやすく
21	明成スタイル	特にありません
22	挨拶	明成中学校を良くするためには何をしなければならぬかを、先生、生徒、保護者で目標を共有し実践する必要がある
23	三年生は、男女関係なく仲良く学校生活をおくっている	不登校生の減少
24	入学7カ月ですが様々な点で未だ、分からない事が多いと言うのが正直な気持ちです。	生徒同士のトラブルなど色々あるようですが、学校でも把握していない事があるかもしれないので、定期的に個人面談等してあげるといいかなと思います。
25	1クラスが少人数のため、生徒一人一人に指導が行き届いている(としたい)	明成中だけではありませんが、全体を通して不登校な子が増えていると思えます。そういったお子さんに対する対応や対策などが必要かと感じています。
26	明成ジャーナルで子供の様子がよくわかる	クーラー、暖房をつけてほしい。 古い机を新しくしてもらいたい
27	日の出小と連携した9年間の教育活動は他にはない	来春から中間、期末テストがなくなりますが、単元テスト方式を取り入れている他の中学校では、どんな変化があったのか、など具体的に知りたいと思えます。どんな経緯があって明成で取り入れることになったのか分からないし、いい面があるから単元テスト方式にするのだから急だったこともあり、少し不安もあります。他の中学校で同じように単元テスト方式にして生徒の戸惑いとかなかったのか、学力テストで点数が取れるのか、高校に入ってからまた、中間、期末テスト方式に戻ってペースがつかめてるのか、など、情報があるのであれば教えていただけたらと思います。
28	少人数でアットホームなところ	
29	合唱	
30	挨拶、合唱	
31	子供たちの自律心が育っているように感じます。	
32	挨拶	
33	他学年とも仲が良い	
34	他の中学校と比較して考えることが出来ないで、よく分からないですが、明成は生徒数が少ないので先生方が生徒一人一人を覚えてくれて、たくさんの時間をかけて生徒のことを考えることが出来、その生徒の個性に合わせた助言をしてくださるのでは、と思っています。	
35	きちんと挨拶ができる	

# 生徒

回答No.	現在の明成中学校で、誇れること、自慢できることは何だと思いますか、お書きください。
1	挨拶がいい
2	明るい
3	自慢できることは、1年A組は元気なのが自慢できる。
4	トイレ綺麗
5	挨拶
6	トイレが綺麗
7	トイレが綺麗
8	学校生活が楽しい
9	挨拶をしてくれる人が多い
10	他学年との交流
11	行事やイベントで全校生徒が盛り上げられること
12	あいさつや元気さ
13	漫画がある
14	挨拶、笑顔、元気、明るさ、
15	挨拶
16	仲の良さ
17	授業が面白い先生がいる
18	授業スタイルがただ話を聞いて板書する訳ではなく、話し合いが多かったりすること
19	自慢できるところは、元気なところが自慢できるところです。
20	みんな挨拶ができる
21	授業などで学年のみんな、誰とでも話してからぼんぼんに仲がいいこと。
22	あいさつ
23	トイレが綺麗なこ、図書室の漫画で色々な種類があること。
24	みんな元気
25	元気が良くて明るい所
26	ない
27	あいさつ、目標力、トイレ
28	年齢関係なく仲良くしてあげる みんなが真剣に授業に取り組んでいる 遊ぶ時は遊ぶ仲はやるやるとメリハリがしっかりできている!
29	みんなが元気いっぱいなこと
30	あいさつが良いのと切り替えも早い所です。
31	特になし
32	部活が非常にフレンドリー
33	元気があふ、協力できる
34	漫画の種類がたくさんある、トイレが綺麗で使いやすい
35	あいさつがいい
36	生徒一人一人がみんな挨拶とか、学校のためにできることを積極的にやっていること。
37	トイレがきれい ワンピースが沢山ある
38	トイレが綺麗です
39	トイレが綺麗
40	生徒が少ないから仲がいいこと
41	多学年の交流が多いこと
42	トイレの設備と図書室の品揃えと外壁塗装がしっかりしているところ
43	図書室に漫画があることです。
44	あいさつ
45	トイレが綺麗
46	授業がわかりやすい、面白い人が多い
47	挨拶や全校生徒の雰囲気
48	あいさつがとても多いこと、メリハリがついているところ。
49	明成中学校に居ること
50	挨拶がいい、個性がある。
51	トイレが綺麗、あいさつが多い
52	授業がわかりやすい
53	授業への期待性
54	先生が優しい
55	あいさつ
56	先生が優しい
57	挨拶が良い
58	挨拶などが多い所。
59	授業がわかりやすい
60	他学年との交流がある
61	挨拶ができて居ること
62	学年関係なく仲良い人が多い
63	ワンピースをたくさん読めること
64	トイレがキレイ
65	明成の委員が大体仲がいい
66	
67	あいさつを先生・先輩・後輩関係なくしているところ
68	メリハリがある
69	あいさつ、他学年の仲の良さ、ノリがいい、行事が盛り上がる、男女関係なく仲良し、信頼できる先生がいる
70	トイレが綺麗 先輩後輩仲がいい
71	みんな自分から挨拶すること
72	トイレ
73	トイレが綺麗、あいさつが素晴らしい
74	挨拶がいいと思う
75	仲良しことし
76	みんながみんな仲が良い
77	挨拶の声が大したこと
78	挨拶
79	あいさつ
80	元気
81	仲がいい
82	挨拶が大きい
83	元気
84	挨拶と元気の良さ
85	イベントが豪華で楽しいこと
86	小学校との関わりが多く活動範囲が大きい
87	先輩や後輩の仲がよくおなかく上下関係がはっきりされているところ
88	トイレ
89	年間行事の盛り上がり感?
90	部活が多い
91	トイレが綺麗
92	トイレ
93	ノリが良くて何事にも金力なところ
94	挨拶が元気良い 多学年同士の交流が多いため仲がいい
95	あいさつ
96	挨拶の声の大きさ
97	元気がすごい
98	明成スタイルで勉強できていること
99	生徒会会計に立候補
100	挨拶
101	先輩後輩で楽しくかわいできる 先輩、後輩の仲がいい
102	『明成スタイル』という独自の勉強スタイルで授業がわかりやすい 先生1人1人がとても優しい
103	トイレが綺麗
104	先生方が優しい。
105	あいさつ
106	挨拶が多い
107	あいさつ
108	あ

# 教職員

回答No.	現在の明成中学校で、誇れること、自慢できることは何だと思えますか、お書きください。	今後さらに明成中学校をよくするための方策があればお書きください。
1	不登校生徒と家庭に対する担任、副担、その他教員の粘り強く親身な対応	指導の一貫性、無駄を省いて必要な情報を確実に共有する時間の確保と一人ひとりの意識の改善
2	職員のチーム力 生徒の自主性	職員の情報の共有 生徒のあいさつ
3	全教科で統一した授業スタイル 生徒の授業に向かう態度の良さや授業スキルの高さ。ICTスキル。生徒の力を教員が伸ばそうと努力していると感じるところ（生徒主体の授業実践など） 研修で進める授業づくりに対して、熱心に取り組む教員が多いこと	カリキュラムの見直しを実際に行なっていることがとても良いと思います。 テストがなくなるため、評価について4月までに確認しておく、教員の入れ替えがあっても次年度からスムーズに授業が進むと思います。 学年によって生徒の力に差がつかないように、生徒指導、学習指導を協力して行なっていかなければと思っています。
4	困っている人を手伝うことができる生徒が多い。 問題が起こった際に、職員同士協力してチームで対応することができる。	サポート室の柔軟性を持った活用の充実。サポート体制の構築。 生徒会活動の活性化。
5	明成スタイルで教師も生徒も授業の見通しを持って進めることができています。	授業や行事などへの積極性
6	素直で何事にも頑張ろうと取り組む生徒が多い、教職員の結束力	様々な面での業務の精選は今後も続けていく必要があると思います。各種行事反省などでも出される「どんな生徒を育てていきたいか」を教職員で共通理解し、引き続き同一歩調で生徒に寄り添い、日々の指導にあたっていきたい。
7	最上級生がお手本となる姿を示している。行事の縦割り活動。合唱に対する取組姿勢。3年間で成長させる取組。総合で外部講師を積極的に招聘する取組。本気で生徒に向き合う先生方。チームによる組織的取組。互いをリスペクトして協働する職員。	たくさん褒めて伸ばす。自己決定させる場面を増やして自分と向き合う経験を積み重ねる。
8	生徒が落ち着いた雰囲気、授業に参加できること	1年生からしっかりしつけていくこと
9	生徒の素直さ	現状の指導を持続する
10	日の出地区は気持ちの優しい子どもがとても多い。中学校に来てその雰囲気がある。授業に一生懸命取り組む生徒が多い。	今年度始まったカリキュラムマネジメントの取り組みを充実させて、職員全員で明成をつくりあげる気持ちを全員が持つこと。
11	教科教室でICTを活用した日常の授業	自ら誰にでも気持ちの良い挨拶（職員も含めて）
12	生徒たちが主体的に学習や活動できるように職員全員が取り組んでいるところ。	挨拶が元気にできていない生徒を見かけるので、職員全員で取り組むべきだと思います。 不登校生徒が多いので、対策が必要かと思っています。
13	生徒のグループワークに関するスキル	支援学級と通常学級の交流場面が増えるといいなと思います。
14	素直な生徒が多い	ゆとり
15	生徒と先生方の関係が良好	・同一歩調で生徒への指導や対応を行えるようにしていく ・危機意識、課題意識を持って、生徒に接していく
16	・先生方のフットワークの軽さ ・先生方のフォローアップ体制	・明成スタイルを一回脱却して、子供達に身につけさせる力を本当の意味でつけさせるにはどうしたらいいか考える。（同じスタイルでいろんな先生方がやることで、そのやり方でないといけない生徒が生まれる。多様に対応できる力をつけるのも大事）